

令和5年度 大館市立花岡小学校 学校評価書(**前期** ・ 年度)

A 学校教育目標

自立した子どもを育てる	
めざす児童像	心身共に健やかな子 人を大切にする子 学びを楽しみ、広げ深める子 チャレンジングな子

B 本年度の重点目標

◎ 課題対応能力の育成

C 学校経営の特徴

◇課題対応能力を育成する学校行事、児童会活動(チャレンジ活動) ◇明るく楽しい学級づくり ◇チャレンジ授業とベーシック授業 ◇開かれた学校づくり



【花岡2023プチ運動会 記念撮影】



【防犯教室(不審者対応訓練)】



【花岡2023プチ運動会:ボッチャ体験】

D 評価

アンケート回答者 保護者32名、児童4、5、6年生26名、教職員10名

自己評価Aと外部評価の区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 心身共に健やかで人を大切にする子どもの育成

健康な心と体をつくろうとするとともに、規範意識をもって自他の心や人間関係等を大切にする人間尊重の精神を育てている。	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	前期 おおむね良好	おおむね良好	専門家の力を借りながら、子どもたちの心身の健康に努めている。今後も継続的な取組に期待したい。体力向上についても、子どもたちの状況に応じた取組をお願いしたい。「こども哲学」を教育活動の下支えに役立て、横断的に活用することで、他の教育活動と連動させていくことが可能であろう。
自己評価の改善概要と	【前期(→年度)】	給食センターの栄養教諭による「食に関する指導」や、学校歯科医師による「歯磨き指導」など、外部の講師を活用した指導が、児童への意識付けになり、生活習慣の向上につながっている。体育館の割り当てや、外遊びの呼びかけなど、児童の委員会活動での呼びかけにより、少しずつ外に出て遊ぶ児童が増えてきている。今後は、体力向上も念頭に置き、継続的に取り組めるようにしていきたい。また委員会活動では、決めたことをしっかり実行できるようにするため、活動の目的や役割について確認し、上級生が見通しをもって、下級生をリードできるように指導していきたい。	
	【年度(→次年度)】		

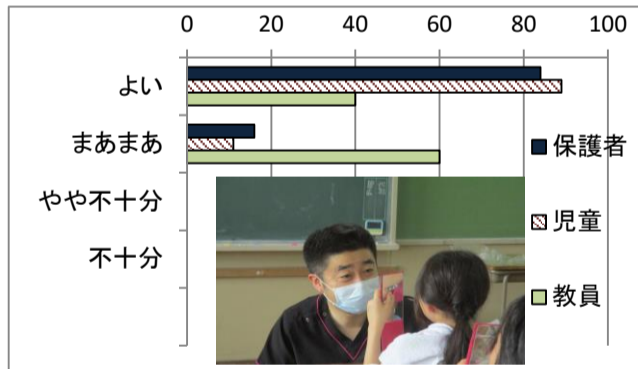
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 心身の健康づくり	(1)生活習慣向上に向けた実践	生活習慣指導、食育指導、保健・健康教育等	3	
	(2)継続的な体力づくりの取組と体力の向上	体力検定・なわとび運動等 多様な遊びの奨励と環境整備		
2 人間尊重の精神	(3)集団の一員としての自覚ある言動	縦割り班活動・委員会活動・学校行事等での活動	3	
	(4)明るさ・活力・自他を大切にする学級づくり	学級指導・学級活動の充実 こども哲学		

【1に関するデータ】

【保護者アンケート自由記述より】

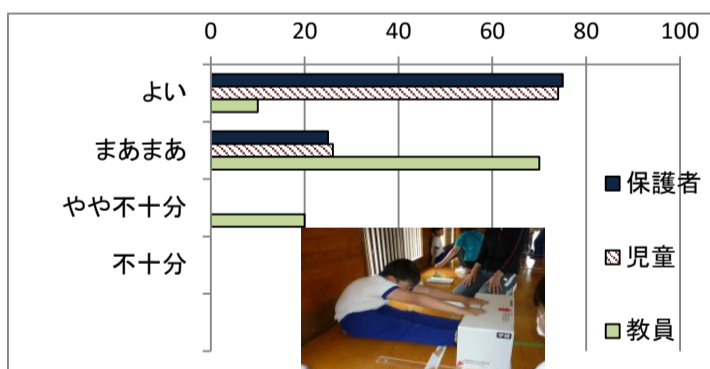
・毎日学校に行くのが楽しい様子が安心。・委員会の放送担当で、よい経験ができた。練習を重ね、本番では達成感を味わうことができた。

○生活習慣向上に向けた取組を行っているか。
(平均値 保護者3.84 児童3.89 教員3.40)



【学校歯科医による歯磨き教室】

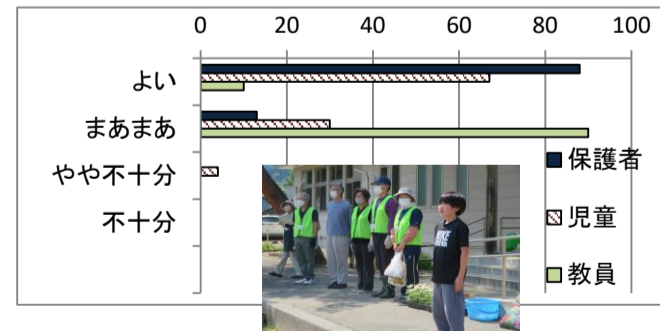
○継続的な体力作りに努めているか。
(平均値 保護者3.75 児童3.74 教員2.90)



【縦割り班での体力検定】

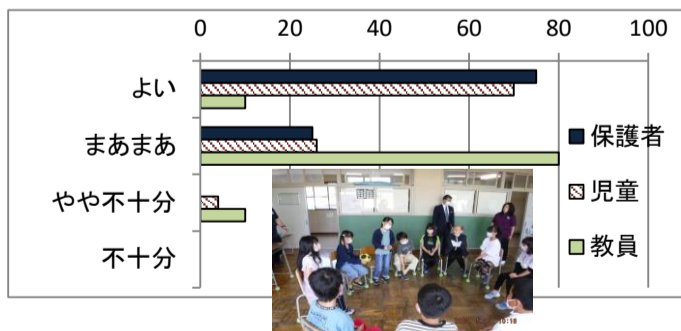
【2に関するデータ】

○集団の一員として自覚ある言動をしているか。
(平均値 保護者3.88 児童3.63 教員3.10)



【人権の花植栽活動】

○明るく活力ある学級づくりが行われているか。
(平均値 保護者3.75 児童3.67 教員3.00)



【矢立小学校との交流】

—

—

Ⅱ 学びを楽しみ、広げ深める子どもの育成

内発的動機付けに支えられた学びを楽しむとともに、互いの考えを共有したり多角的に考えたりするなど、学びを深める指導を行っている。	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	前期 おおむね良好	おおむね良好	1年生の元気がすこぶるよい。各学年とも成長の跡がよく見える授業であった。年度末に向け、学力も含め上がっていく要素がたくさん見られた。 複式学級の学習指導については、よりよい学びの姿を全職員で共通理解を図りながら進めていってほしい。
自己評価の改の善概要と	年度		
	<p>【前期(→年度)】 複式学級が二つになったが、更に子どもたち同士で学びを深められるようにと、日々、試行錯誤しながらチャレンジ授業への挑戦を続けている。子どもたちの学びが充実するよう、よりスキルを高めていきたい。基礎学力について、児童の数値が高くなっている。積み重ねによる定着を児童自身が実感できている結果であると思われる。全国学テも、国語・算数、どちらも、全国の平均通過率を上回った。読書の数値は高いが、今後も、毎日の読書タイムや週末読書を大事にし、読書の質や量の向上につなげていきたい。家庭学習ノートの内容を充実させるために、ノート展でお互いのノートを見合ったり参考になるノートを展示したりする機会を大事にし、意欲につなげていきたい。□</p> <p>【年度(→次年度)】</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
3 基礎・基本の定着	(5) 基本的な学習習慣の定着	「学習の約束」「学び方」の徹底	3	
	(6) 基礎・基本の徹底と学習内容の定着	基本を徹底する授業		
4 学びの多面化・深化	(7) 多様な学びの保障	主体的に学び合う授業	3	
	(8) 読書活動の充実	図書館まつり、各種読み聞かせ、読書運動等		

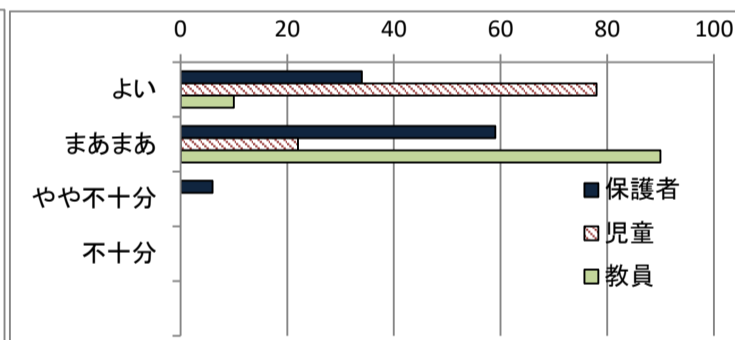
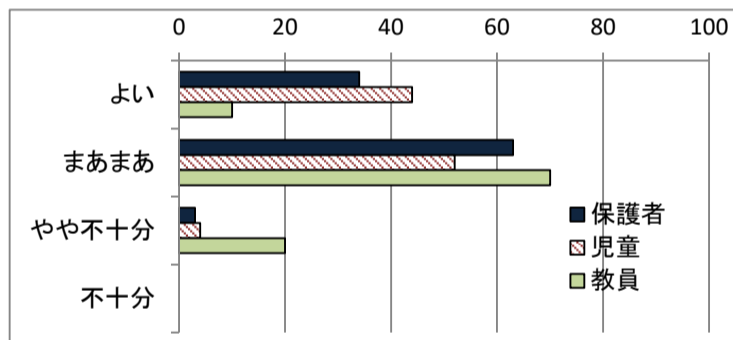
【3に関するデータ】

○基本的な学習習慣が定着しているか。

(平均値 保護者3.31 児童3.41 教員2.90)

○計算、漢字、読み書きなど、学習の基本が身に付いているか。

(平均値 保護者3.28 児童3.78 教員3.10)



【子ども同士の学び合い】



【20玉そろばんを使って】



【「花矢図書館」「ミラクルバナナ」による読み聞かせ】



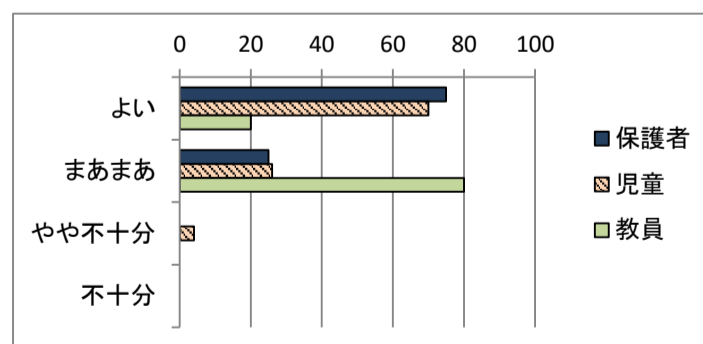
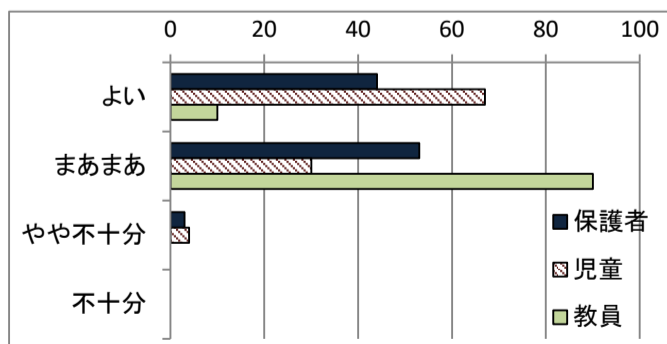
【4に関するデータ】

○学び合いの充実が図られているか。

(平均値 保護者3.41 児童3.63 教員3.10)

○読書活動が推進されているか。

(平均値 保護者3.75 児童3.67 教員3.20)



Ⅲ チャレンジな子どもの育成

挑戦意欲をもち、連携する力と創造性を発揮しながら主体的に活動する子どもを育てている。	自己評価A		学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	前期	おおむね良好	良好	「チャレンジ」は、子ども、保護者、教師ともに花岡小の特徴的な活動として認識され、自慢となっている。また、「チャレンジ」の考え方は中学生の主体的な活動にも結び付いている。評価点が高いことから「良好」と判断するが、更なる磨きに期待する。自信をもって活動の継続をお願いしたい。
年度				

【前期(→年度)】
6年生を中心としたチャレンジ活動の成功を目指し、全校児童、全職員が同じ方向を向いて取り組んだ。前年度の課題を明確にした上で、今年度の目標・計画につなげられたことがよかった。児童が失敗から課題解決への過程で成長していく様子が見られた。3年生の「アルミ缶活動」や4・5年生の「自然教室」など、各学年に応じた校外学習や体験活動も充実していた。「チャレンジしたい」「自分たちでやりたい」という意欲がどの学年も高まっている。「見通しをもって活動していくこと」や「相手意識をもって活動に取り組むこと」など、次への課題も見付けることができた。その課題について、行事やイベントの時だけでなく、日常化できるよう、さらに繰り返し指導していく。また、普段の授業や委員会活動もSDGsに関連付けながら取り組むことができるよう指導していきたい。

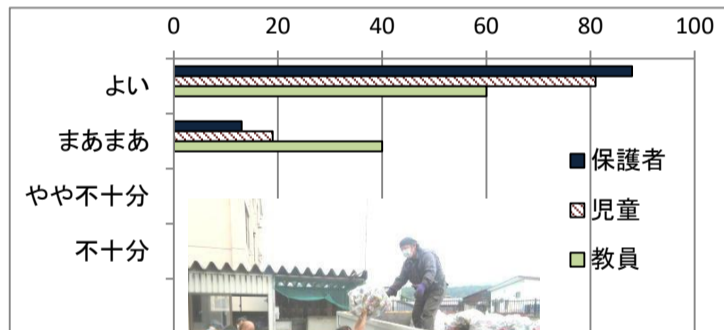
【年度(→次年度)】

自己評価の概要と

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 チャレンジ精神の高揚	(9)チャレンジ活動(学年・全校)の推進と充実	課題対応能力育成のための各学年及び全校の実践	4	
	(10)創造性・連携する力の向上	創造性・連帯感を向上させる各種ミーティング 学級の係・委員会活動等の児童活動 SDGsへの取組	3	

【5に関するデータ】

○いろいろな活動に、勇気をもってつながり、チャレンジしているか
(平均値 保護者3.88 児童3.81 教員3.60)



【3年 アルミ缶回収活動】

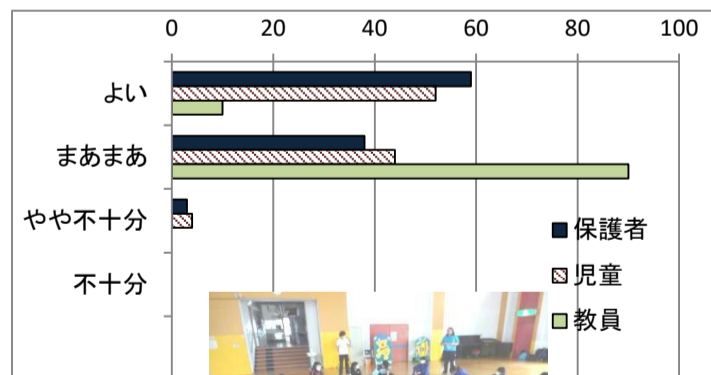
【保護者アンケート自由記述より】

・学校での自分の役割をきちんと意識しているようで「明日は○○だから～する。」と自分なりのチャレンジを教えてくれる。失敗してもいいので「自分で考える」事にチャレンジしてほしい。
・学校生活を生き生きと送り様々なことにチャレンジしている。フォロワーシップだけでなくリーダーシップの心も少しずつ成長してきていると感心している。
・自然教室のスタンプでは子どもたちのがんばりが見られた。家でもスタンプの練習をしていた。がんばる姿が見られてうれしかった。



【花岡2023プチ運動会 ゆるスポーツ100cm走】

○いろいろな行事で、自己有用感やよさの発見、発揮できているか。
(平均値 保護者3.56 児童3.48 教員3.10)



【活動の合間にもミーティング 4、5年自然教室】



【花岡2023プチ運動会 ボッチャ】



【よさこい練習の後のミーティング】

IV 保護者・地域との連携

学校の取組がわかりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	前期	おおむね良好	良好
年度			

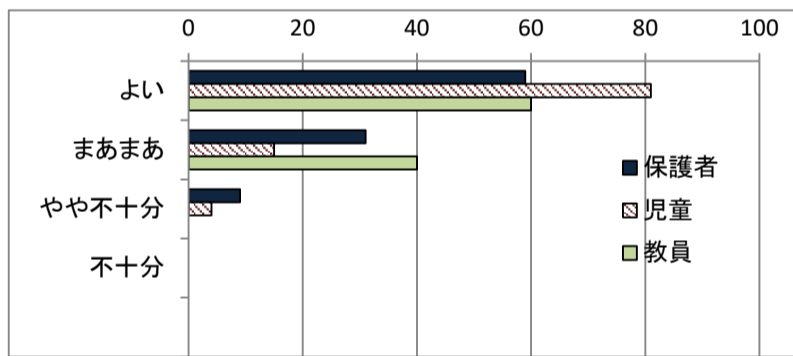
【前期(→年度)】
今年度もクラブ活動への協力や花岡版子どもハローワークの受け入れ等地域の皆さんには感謝したい。新たに大森土木とのクリーンアップが加わり、地域との連携がさらに充実してきた。保護者アンケートの自由記述や励ましの言葉は温かく、全戸からアンケートが返ってきた。保護者の学校への関心の高さが感じられる。一方で児童数の減少や地域の実情により、これまで実施していた交流等が継続できるかどうか心配される。地域と関わる活動の一つ一つ見直ししていく必要がある。

【年度(→次年度)】

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 情報の受発信	(11)各種たより等の充実と学校開放	学校報・学年だより等の発信 HPの定期的な更新 学校開放や保護者アンケートでの受信	3	
7 地域との連携	(12)地域に対する愛着心や誇りを高める実践	学習・クラブでの人材活用 花岡2023みんなでプチ運動会、地域探検、職場体験、花岡子どもハローワーク等、「幼保小中」間での連携	3	

【6に関するデータ】

○学校報、学年だより、各種のおたよりは充実しているか。
(平均値 保護者3.50 児童3.78 教員3.60)



【職員アンケート自由記述より】

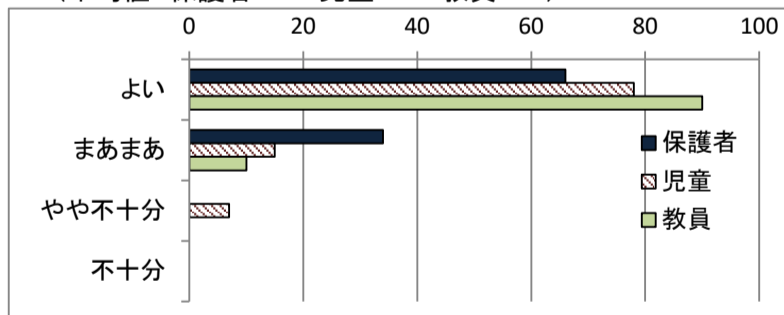
・今年度もクラブへの協力や花岡版ハローワーク受け入れ等地域の皆さんに感謝です。
・新たに地域と連携した活動(大森土木とのクリーンアップ)がありよかった。継続できたらいい。
・保護者は子どもたちの様子等にとっても関心があるようだ。おたより等もよく見てくれている。保護者、地域への発信はいつもタイムリーでよかった。



【全クラブ活動が地域の方を先生に(全5クラブ)】

【7に関するデータ】

○地域人材の活用、愛着心や誇りを高める実践がなされているか。
(平均値 保護者3.66 児童3.70 教員3.90)



【幼保小交流:七夕交流】



【大森土木とのクリーンアップ】



【花岡版子どもハローワーク(ダリア農家体験・司書体験)他にパティシエ体験・保育士体験・自動車整備体験】